令和４年 10 月 13 日

郡市区等医師会　　御中

大 阪 府 医 師 会
（公印省略）

「感染症発生動向情報（第４０週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

http://www.iph.pref.osaka.jp/

【問合せ先】
大阪府医師会・地域医療１課
TEL 06－6763－7012

大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2022年 第40週（10月3日～10月9日）

今週のコメント

～感染症予防の基本～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎　増加」

第40週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,154例であり、前週比3.4%減であった。定点あたり報告数の第１位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.05、1.92、0.70、0.47、0.43である。

手足口病は前週比1%減の401例で、三島3.53、南河内3.44、堺市2.58、大阪市南部2.56、北河内2.40であった。

感染性胃腸炎は7%増の376例で、南河内2.94、大阪市南部2.83、中河内2.70である。

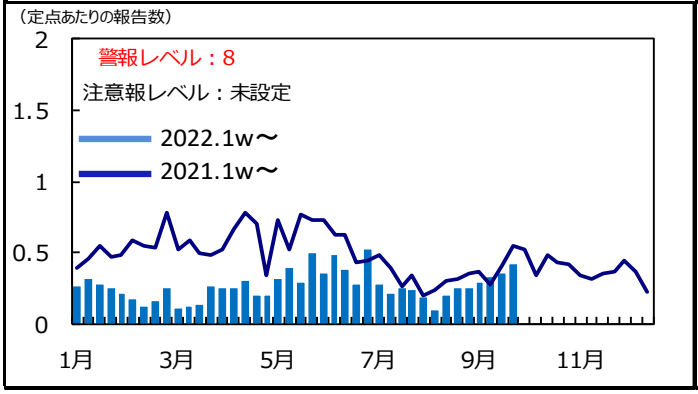
RSウイルス感染症は15%減の137例で、南河内2.75、堺市1.26、泉州1.00であった。

ヘルパンギーナは13%減の93例で、大阪市南部1.11、三島0.71、豊能0.52である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は18%増の84例で、泉州1.05、大阪市南部0.89、中河内0.75であった。

インフルエンザは増減なしの3例で、定点あたり報告数は0.01である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎



手足口病

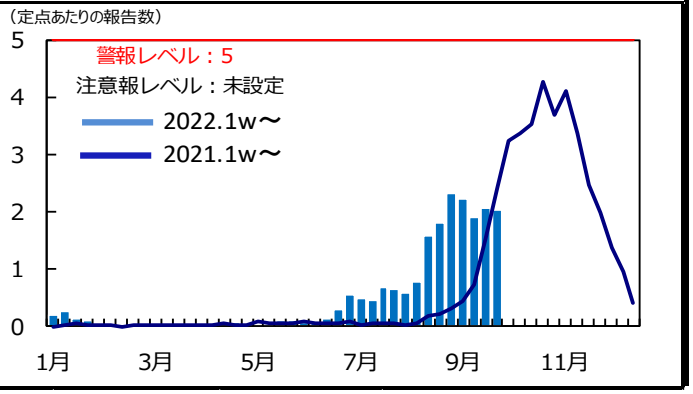


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2022年 第40週10月3日～10月9日）

第40週の順位	第39週の順位	感染症	2022年第40週の定点あたり報告数	前週比増減	2021年第40週の定点あたり報告数	2022年第40週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	手足口病	2.05	1%減	2.42	1歳_36%
2	2	感染性胃腸炎	1.92	7%増	2.57	1歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	0.70	15%減	0.23	1歳_29%
4	4	ヘルパンギーナ	0.47	13%減	0.75	2歳_23%
5	5	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.43	18%増	0.55	3歳_19%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.01	増減なし	0.00	1歳_67%

突発性発しんについて、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2022/23年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

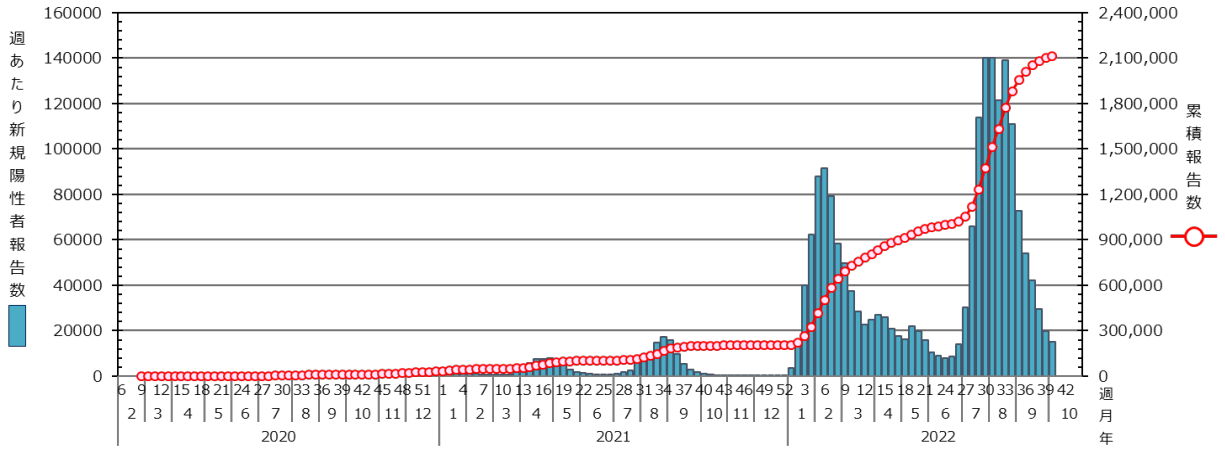
第40週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～

基本的な予防の徹底を（マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避）

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症



第40週の新型コロナウイルス感染症の週あたり新規陽性者報告数は15,077名であり、前週より23%減少した。新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫・エアロゾル・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の肺炎症状が現れる。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、ワクチン接種、マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、隔離、接触者調査が重要である。

新型コロナウイルス(COVID-19)関連情報(国立感染症研究所)　　新型コロナウイルスに関するQ&A(厚生労働省)
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について(大阪健康安全基盤研究所)
新型コロナウイルス感染症関連特設サイト(大阪府)

表２．大阪府全数報告数（2022年 第40週10月3日～10月9日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**3**			1	1	1				149
４類感染症	**デング熱**	**1**							1		10
	レジオネラ症（肺炎型）	**1**				1					86
５類感染症	**クロイツフェルト・ヤコブ病**	**1**					1				14
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**1**				1					27
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	**1**								1	10
	侵襲性肺炎球菌感染症	**1**					1				70
	梅毒	**13**	2	1	2				1	7	1288
新型インフルエンザ等感染症	**新型コロナウイルス感染症**	**15,077**	2020年1月以降累計　2,115,857								
結核 （2022年8月分）	**結核　新登録患者数：58名** （府内累積報告数　642名、内　肺・喀痰塗抹陽性　232名）	（内　肺・喀痰塗抹陽性　17名）									

（2022年10月11日　集計分）

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。

感染症発生動向調査情報　（ブロック別 ・ 疾患別 ・ 年齢別患者発生数）

2022年10月11日

第40週　2022年10月3日～2022年10月9日

（ブロック別）

疾病名	ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市北部	09 大阪市西部	10 大阪市東部	11 大阪市南部	合 計
定点数	小　児　科	23	17	25	20	16	19	19	14	10	15	18	196
	眼　　科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
	基　　幹	2	2	2	2	1	2	1	4				16
	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	35	25	40	31	24	29	32	20	15	22	27	300
小児科定点把握疾患	RSウイルス感染症	1	2	20	2	44	24	19	5	7	4	9	137
	咽頭結膜熱	0	0	2	0	0	2	3	0	1	0	1	9
	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	2	11	15	9	6	20	2	0	1	16	84
	感染性胃腸炎	39	29	42	54	47	29	28	32	11	14	51	376
	水痘	2	0	2	1	0	3	0	0	0	1	2	11
	手足口病	26	60	60	45	55	49	16	23	6	15	46	401
	伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	突発性発しん	3	2	4	7	3	0	2	4	1	1	3	30
	ヘルパンギーナ	12	12	13	7	6	9	5	5	1	3	20	93
	流行性耳下腺炎	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	5
眼科定点把握疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	0	0	1	3	0	0	1	0	0	3	0	8
合　　計		86	107	157	134	164	122	94	71	29	42	148	1154
基幹定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	1	0	0				2
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0	0	0				0
イ定	インフルエンザ	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3

（年齢別）

疾病名	年齢区分	6ヶ月未満	12ヶ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳から14歳	15歳から19歳	20歳以上	合計
RSウイルス感染症	R	12	18	40	28	22	12	3	0	2	0	0	0	0	0	137
咽頭結膜熱	咽	0	1	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2	9
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A	0	0	9	6	16	6	10	10	4	3	2	11	3	4	84
感染性胃腸炎	感	3	33	57	44	33	31	33	20	18	13	11	52	10	18	376
水痘	水	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	6	1	0	11
手足口病	手	1	32	145	108	58	25	18	7	1	1	2	0	0	3	401
伝染性紅斑	伝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	突	1	10	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
ヘルパンギーナ	ヘ	0	3	20	21	16	14	7	6	1	1	0	1	0	3	93
流行性耳下腺炎	流	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0	5
急性出血性結膜炎	急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	流	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	8
合計	合計	17	97	288	212	146	90	71	44	27	21	17	72	15	37	1154
細菌性髄膜炎	細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
マイコプラズマ肺炎	マ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	ロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザ	イ	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2022年10月11日

（ブロック別）

第40週　2022年10月3日～2022年10月9日

疾病名	ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市北部	09 大阪市西部	10 大阪市東部	11 大阪市南部	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合 計	上位5疾患順位
定点数	小児科	23	17	25	20	16	19	19	14	10	15	18	83	57	19	12	8	9	8	196	
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52	
	基幹	2	2	2	2	1	2	1	4				7	4	2	1	2	0	0	16	
	インフルエンザ	35	25	40	31	24	29	32	20	15	22	27	130	84	29	18	13	13	13	300	
小児科定点把握疾患	RSウイルス感染症	▼ 1	▼ 2	20	▽ 2	△ 44	▼ 24	19	▼ 5	7	▽ 4	▼ 9	68	▽ 25	▼ 24	▽ 0	▽ 1	0	10	137	3
	咽頭結膜熱	▽ 0	▽ 0	▲ 2	▽ 0	▽ 0	2	▽ 3	▽ 0	△ 1	▽ 0	▽ 1	▽ 5	▽ 2	2	0	0	▽ 0	0	▽ 9	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	△ 2	△ 2	△ 11	△ 15	▲ 9	6	△ 20	2	▽ 0	1	▽ 16	△ 40	▽ 19	6	△ 14	0	0	△ 2	84	5
	感染性胃腸炎	39	29	△ 42	▽ 54	47	29	28	▲ 32	▽ 11	△ 14	▲ 51	120	△ 108	29	▽ 22	▽ 10	10	△ 19	376	2
	水痘	△ 2	▽ 0	△ 2	▽ 1	0	△ 3	▽ 0	0	▽ 0	1	▽ 2	▽ 2	▽ 3	△ 3	1	0	▽ 0	1	▽ 11	
	手足口病	26	60	▲ 60	45	55	△ 49	16	▽ 23	▽ 6	15	46	165	▽ 90	△ 49	22	▽ 4	▽ 8	△ 16	401	1
	伝染性紅斑	0	0	0	▼ 0	0	0	▽ 0	0	0	▽ 0	0	▽ 0	▽ 0	0	▼ 0	0	0	0	▽ 0	
	突発性発しん	▼ 3	△ 2	▽ 4	▽ 7	▼ 3	▽ 0	2	4	▽ 1	1	△ 3	11	9	▽ 0	▽ 5	0	▽ 1	▼ 0	▽ 30	
	ヘルパンギーナ	△ 12	▽ 12	▽ 13	▽ 7	△ 6	△ 9	▽ 5	△ 5	▽ 1	3	△ 20	27	29	△ 9	3	▽ 1	1	▽ 10	93	4
	流行性耳下腺炎	1	0	▽ 2	▽ 0	▽ 0	▼ 0	▽ 0	▽ 0	△ 2	0	▽ 0	▽ 3	2	▼ 0	0	0	▽ 0	▽ 0	▽ 5	
眼科定点把握疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	0	0	△ 1	△ 3	0	0	1	0	0	▲ 3	0	1	▲ 3	0	△ 2	0	0	△ 1	△ 8	
合 計		86	107	△ 157	134	164	122	94	71	▽ 29	42	148	442	290	122	69	▽ 16	▽ 20	59	1154	
基幹定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	△ 1	△ 1	0	0				△ 1	0	△ 1	0	0	0	0	△ 2	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
イ定	インフルエンザ	0	0	△ 1	0	0	0	▽ 0	0	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	

△▽・・・前週比20%以上増減　▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計　　2022年39週(09月26日～10月02日)

1～4類（全数把握）	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ（A/H1N1）	0
急性灰白髄炎	0
結核	226
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）	0
中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）	0
鳥インフルエンザ（H5N1）	0
鳥インフルエンザ（H7N9）	0
コレラ	0
細菌性赤痢	0
腸管出血性大腸菌感染症	113
腸チフス	0
パラチフス	0
E型肝炎	9
ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）	0
A型肝炎	2
エキノコックス症	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
サル痘	1
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属ＳＦＴＳウイルスであるものに限る。）	3
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	1
つつが虫病	3
デング熱	2
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１及びＨ７Ｎ９を除く。）	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	24
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	0
マラリア	2
野兎病	0
ライム病	2
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	51
レプトスピラ症	4
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部（全数把握）	報告数
アメーバ赤痢	14
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）	1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	36
急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	0
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	6
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5
後天性免疫不全症候群	18
ジアルジア症	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	5
水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）	3
先天性風しん症候群	0
梅毒	184
播種性クリプトコックス症	6
破傷風	2
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0
百日咳	6
風しん	0
麻しん	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	51	0.01
ＲＳウイルス感染症	3705	1.18
咽頭結膜熱	168	0.05
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1030	0.33
感染性胃腸炎	6306	2.01
水　痘	191	0.06
手足口病	6218	1.98
伝染性紅斑	26	0.01
突発性発しん	844	0.27
ヘルパンギーナ	1411	0.45
流行性耳下腺炎	113	0.04
急性出血性結膜炎	7	0.01
流行性角結膜炎	116	0.17
細菌性髄膜炎	5	0.01
無菌性髄膜炎	13	0.03
マイコプラズマ肺炎	5	0.01
クラミジア肺炎（オウム病を除く。）	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	4	0.01

定点数

インフルエンザ	4907
小児科	3141
眼科	694
基幹病院	478

8月(月報)

性感染症・基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症	2519	2.57
性器ヘルペスウイルス感染症	752	0.77
尖圭コンジローマ	552	0.56
淋菌感染症	837	0.85
メチシリン耐性黄色ﾌﾞﾄﾞｳ球菌感染症	1244	2.61
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	53	0.11
薬剤耐性緑膿菌感染症	12	0.03

定点数

ＳＴＤ	981
基幹病院	477

注意　記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。

FAXによる配信から、より情報量の多いメール配信への切り替えをご希望される方は以下のメールアドレスまでご連絡ください

survey@iph.osaka.jp